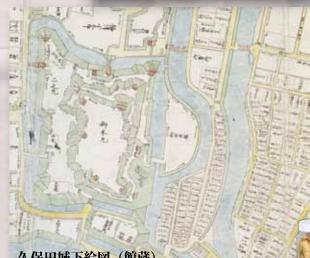


私たちの身の回りには、実に多くの種類の「くすり」があふれています。 「くすり」の歴史、それは病気との戦いの歴史ともいえ、数々の経験の積 み重ねにより、秋田においてもさまざまな「くすり」や病気に関する知 恵が育まれてきました。この展示では、江戸時代以降の秋田の「くすり」 にまつわる物語をお届けします。



## 久保田城に薬園?

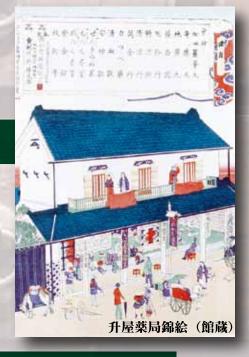
江戸時代後期には久保田城の北西部の堀端に薬園がおかれて おり、藩として薬の製造を推進していました。生薬の実物標本 で、藩で使われた薬を再現します。

また、「龍角散」はもともと秋田藩の家伝薬だったと伝えられ、 秋田出身の藤井家が売り広めました。



## 老舗薬局の風景

近代になると、現在の私たちにもなじみ深い「薬局」が広がっ て、薬の普及が進みます。古い看板からは、当時の薬の流通の状 況などをうかがい知ることもできます。かつての薬局の店頭風景 を一部再現して、ちょっと昔の雰囲気をお届けします。





## 秋田の自然の恵み

腹痛に効くセンブリやゲンノショウコなど、秋田の山野に自生する植 物の中には、薬用資源として有用なものも多く見られます。標本や写真 で、昔から薬として利用されてきた植物を紹介します。

## キッズファーマシー

日時: 3月23日(日) 10時~15時

対象: 4歳~中学生 定員:午前・午後各50名

Let's 薬剤師体験!キッズの皆さんの疑問や質問に薬剤師さんがお答えします。実験 をしたり、実際に模擬薬を使ってお薬を作る体験をします。体験をとおして、お薬に 関しての知識を深めましょう!すべてのコースをクリアした人には、「こども薬剤師 認定証」を進呈します。

参加無料。3月20日までに、電話、FAX、E-mailで、氏名・連絡先を添えて、博物館に お申し込み下さい。定員になり次第締め切ります。



秋田県立博物館